

KADOTA-Office.com 2009.11

URL: <http://www.kadota-office.com/>
mail: info@kadota-office.com
tel: 022-271-6751 fax: 022-271-6758



今月の写真：
東根のりんご photo by Yoko Kadota

年金記録問題の昨今の状況

新政権になり1か月が過ぎ、様々な施策が動き出しました。年金記録問題についても、本格的に公約実現に向けた予算措置に言及したニュースが連日報道されています。ここ2週間のトピックスをご紹介します。

年金記録の持ち主判明から支給まで「平均 3.7 カ月」(11/6)

厚生労働省は、「宙に浮いた年金記録」などの年金記録問題に関しての解明状況を公表し、年金記録の持ち主判明から年金支給までの期間が「平均 3.7 カ月」であることがわかった。今後は、解明状況を毎週公表していく方針。

「社保庁職員は日付入り名刺を」長妻厚生労相が指示(10/25)

長妻厚生労働大臣が社会保険庁職員の意識改革に乗り出し、今月 26 日から全国の社会保険事務所などを訪れた人などに職員が日付入りの名刺を渡すように指示したことがわかった。また、2011 年度までに、年金記録問題の照合作業に約 6 万人を投入する方針を示した。

「年金通帳」に 1,300 億円投入へ 厚労省方針(10/31)

厚生労働省は、「年金通帳」制度の創設に関連して、予算 1,300 億円を投入する方針を明らかにした。「年金通帳」は、すべての加入者がいつでも自分の記録を確認できるようにするため、2010 年度の創設を目指しているもの。

郵便局 ATM で年金記録確認 政府が検討(10/24)

政府は、年金加入者が郵便局の ATM で自分の年金記録を確認できるサービスを導入する検討に入ったと発表した。厚生労働省が 2010 年度の創設を目指している「年金通帳」を活用する考え。

[関連リンク] 「年金通帳」で消えない年金 (民主党 HP)

<http://www.dpj.or.jp/special/passbook/index.html>

門田より：私が今までに年金記録の調査依頼を受けた方の中で、最も多く基礎年金番号を取得していた方は<7つ>の番号を持っていました。この記録を通算する手続きが完了した旨の通知を本人が受け取るまで、6か月以上の期間を要しました。この方を含め、年金調査で苦労することの一つに、調査が複数回に及び社会保険事務所の窓口に出向くと毎回担当者が異なること。毎回「この方は～」と説明をしなければならず、窓口の方も私たちが「お互いに」無駄なパワーを使っていました。これからは、日付入り名刺をいただいて「前回の続き」となる調査ができるとなれば、本当に便利になるだろうと期待しています。また、年金通帳に関しては、HP でも選挙中のマニフェストビデオでも、預金通帳のような形のサンプル画像が出ています。少なくとも、年金手帳にも本来は勤務期間や勤務先を記載する場所がありますが、機能していません。さらにデータを充実させて継続的に活用するためには、誰が、どのような形で記載し、それをどのように補完していくのか、年金手帳とのすみ分け？統一？政権限りの成果ではなく、国民の資産管理としての位置づけで、取り組んでいただきたいと思います。

今月の写真 ～Kadota-office staffs が贈る季節の風景

私は小さな頃からりんごが大好き。冬といえば夜の果物はりんごかみかん、風邪をひいたらすりりんご、りんごジュース…今でもりんごを食べれば不思議と気持ちさがっぱりし、リフレッシュします。仕事の合間に何か口にしたいな、という時はりんごジュースに手が伸びることがしばしば。熱が出て食欲がなくても、疲れて何もしたくない時も、りんご🍏だったら不思議と口に入ります。中学生の頃「1日1個のりんごは医者いらず (An apple a day keeps the doctor away)」という言葉を知りました。科学的根拠は学んだことがありませんが、りんご…それは私にとって命のみずみずしさ、きらめきの象徴のような存在です。東北に移り住んで、日常的に販売されているりんごの美味しいことったら！！この写真は、数年前に国道48号線を西に走り、山形へドライブをした時に撮った写真です。たわわに実るりんご畑に感動し、何枚も何枚も写真を撮りました。

健康保険の財政悪化が深刻な状況

◆協会けんぽ、健康保険組合ともに赤字

健康保険を運営する各機関の財政状況が深刻化しているようです。「協会けんぽ」(旧政府管掌健康保険)では、2010年3月末決算で3,100億円の赤字になる見通しを発表しています。この赤字幅は、前年度に比べ約810億円も増える見込みで、3年連続で単年度赤字となります。

また、全国の健康保険組合(1,497組合)でも、2008年度の経常収支は合計3,060億円の赤字となっており、黒字を確保した組合は3割にとどまっています。このような状況は、2009年度には一段と悪化すると予測されています。

◆「景気後退」と「高齢化」が大きく影響

これらの状況は、景気の悪化により従業員の給与・賞与が減って保険料収入が減る一方、高齢化により保険給付費が膨らんでいることが要因となっています。

健康保険組合では、保険料を引き上げる組合が今後相次ぐと予想されますが、「協会けんぽ」の保険料を上回ると加入者にとっては加入しているメリットが薄れるため、解散する組合が増えていく可能性も指摘されています。

◆新政権と健康保険財政

一方、「協会けんぽ」では、現状で保険料引上げによる加入者の負担増を求めることは厳しいと判断し、協会けんぽを運営する全国健康保険協会は、長妻厚生労働大臣に国費の投入の増額を正式に要請したそうです。厚生労働大臣では、「協会けんぽ」の収入全体に占める国庫補助率を、2009年度の13%(約1兆円)から最大20%程度まで引き上げる方針であり、働き手の負担増の軽減を目指しています。

しかし、民主党は政権公約で病院の診療報酬引上げを掲げており、必要な医療費はさらに膨らむ可能性があるため、財政の厳しさは増すことが予想されます。保険料が引き上げられること、医療費が高くなることに不満をもつ前に、我々ができること、つまり、いかに健康を維持するかを考え、これ以上の負担増がないようにしたいものです。

門田より：10月のNewsで健康保険の都道府県別利率について触れました。将来の日本を見通したときに、このままの方向で人口構成がすすんでいけば、**人口の高齢化+少子化→労働力人口の高齢化+減少⇒健康保険料の負担増**の構図は明らかです。もう一度、ひとりひとりがこれから先の社会保障がどのようにあるべきなのか、そのために求められる制度のありかたや費用負担とは？(結果、国民の保険料の使い道の監視が強いのは当然ですね)ということをよく考えることが必要ではないかと思っています。また、身近にできる保険給付抑制の手段として、事業所が行う<定期健康診断>は大変重要です。そろそろ皆様の事業所でも終了していることでしょうか。人事担当の皆様には、届いた結果を丁寧に確認いただき、労働条件上配慮すべき箇所がないか、点検をお願いいたします。また、再検査指示に対して早期の受診を進めて頂くなど、ぜひ結果をご活用ください。本人の病気の重篤化を防ぐばかりではなく、健康保険の給付(=将来の保険料負担増)を<予防>することにもつながります。

Kadota office.com 2009.11

#発行: 2009年11月10日 #編集・構成: Kadota-Office

門田修司法書士行政書士事務所/門田陽子社会保険労務士事務所

ADDRESS: 〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町 4-11 伊藤ビル 1F

☎ TEL: 022-271-6751 ☎ FAX: 022-271-6758

🌐 URL : <http://www.kadota-office.com/>

✉ mail : info@kadota-office.com

📖 修日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-osamu/>

📖 陽子日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-yoko/>

